

財務流動性の改善

Q. 財務の流動性をどのように改善するか？

要旨 財務の流動性が悪化している場合には、倒産につながる危険性があるため、早急に改善する必要があります。改善は、ストックとフローの2つの項目からアプローチするとわかりやすく、財務の流動性の改善には、前者に安全性分析、後者に収益性分析を行い、原因を究明し、課題を洗い出し、それに対する対策を行うことが有効です。

解説

1. 財務の流動性の改善は2つの項目に分けて行う

財務の流動性は手元資金を増やして、債務の支払い能力を上げることで改善することができます。手許資金を増加させるには、ストック項目（資産・負債）による改善と利益の獲得（フロー）による2つの項目からアプローチすると明確に行うことができます。

2. スtock項目による改善

ストック項目の改善は、財務分析における安全性の改善につながります。流動比率、当座比率や現預金月商倍率などの安全性分析における流動性のバランスを確認することで、会社の弱い部分が見えてくる可能性があります。指標により改善の方向性は明確になりますが、その課題に対しどのような対策を講じていくのかは経営者の手腕によります。

そして、短期的な改善のほか、長期的な財務の流動性の改善も欠くことはできません。長期的な財務の流動性を担保するためには、業種の特性や企業経営の方向性も考慮する必要があります。上述した流動性を中心とした安全性分析と同様、自己資本比率、固定比率、固定長期適合率や有利子負

債月商倍率など安全性分析における長期的な資産・負債・資本のバランスを確認することで、課題の洗い出しと対策を練ることができるようになるでしょう。

3. フロー項目における改善

根本的に財務の流動性を改善するには、利益を獲得することが必要です。獲得した利益をキャッシュとして積み重ねることで、債務の支払いを可能にしなければ本質的な改善につながりません。この場合、利益獲得の巧拙の指標である収益性分析を活用することで、利益を獲得できない原因や課題を洗い出すことができるようになります。そこから、どのようにすれば利益を獲得していけるのか、対応策を考え実行することが必要になります。

資金繰りが厳しくなった場合の改善策

<ご提案のポイント>

- ・財務の流動性の悪化は倒産につながりかねないため、早急の改善が必要です。
- ・財務の流動性の改善は、貸借（ストック）と損益（フロー）の2つの項目に分けて改善します。
- ・財務の流動性の改善は、まずは短期的なものを行い、長期的なものも考慮します。

1. 財務の流動性が悪化している

財務の流動性とは、会社における短期的な債務の支払能力をいいます。債務の支払能力が厳しくなると、財務の流動性が悪化したことになります。バランスシート上の自己資本比率が高くても、短期的な債務の支払ができなかった場合には、最悪、倒産する場合があります。財務の流動性が悪化している場合には、早急に改善することが求められます。

2. 財務の流動性を改善するには

債務の支払いは、売掛金の回収や手許預金などの流動資産（ストック）と獲得した利益（フロー）の2つの項目に分け、支払能力を考えていきます。

①ストック項目による改善

1年以内に現金化できるものを流動資産といいます。この流動資産には、手元の現預金だけでなく、今後現金化される売掛金、棚卸資産が含まれています。

売掛金の中に回収が遅れているものや不良債権化しているものがないか見直しましょう。そして、通常の回収期間も見直し、早期の回収につながるように検討してみましょう。

また、過剰在庫、不良在庫は企業のキャッシュアウトを伴っているため、財務の流動性の悪化原因になってしまいます。ただし注文が来るのに在庫がないなどの状況は避けなければならないため、適切な在庫数量を把握し、管理するようにしましょう。

債務については、支払期限を延ばすことで一時的に改善することができます。

また、借入金の返済期間を借り換えなどにより延長することで返済の負担を軽減することができますでしょう。

②フロー項目による改善

利益を出し、資金を回すことによって、手元資金は自然と増加します。利益が出る体質に企業をつくり変えるには収益性を改善することが必要です。

3. 長期の財務の流動性を考える

短期的な財務の流動性ととともに、長期的な財務の流動性も確認してみましょう。長期的な財務の流動性には、毎期の利益の積み重ねや設備投資、借入金の返済など会社の財務の健全性が関係します。